



ハンファ Q セルズジャパン

パワーコンディショナと計測端末の接続例

本紙が対応するパワーコンディショナ

屋外用集中型パワーコンディショナ

HQJP-M55-A1 HQJP-M55-A2

HQJP-V55-A2 HQJP-V44-A2

HQJP-MA55-3

屋外用マルチストリング型パワーコンディショナ

HQJP-R55-A2 HQJP-R44-A2

HQJP-RA55-3 HQJP-RA44-3

パワーコンディショナの設定についての詳細は、
パワーコンディショナに付属する施工説明書をご参照ください。
本紙記載の作業には電気工事士の資格が必要です。

※本紙は弊社の対応履歴をもとに作成しております。

はじめに

本紙は、計測端末 Solar Link ZERO（以下「ZERO」と記載）とパワーコンディショナとの配線についての、パソコン特有の施工ポイントを記載しています。

施工時のご注意

ラプラス・システム社の L・eye 施工説明書内に記載の「施工に必要なもの」をご用意ください。

ZERO 側に接続する信号線の先端には、メーカー指定の圧着工具を用い丸端子をカシメ加工します。

※ 推奨接続丸端子：(株)ニチフ端子工業製 TMEV1.25-3 相当品

※ ケーブルの切断や加工時は、ケーブルがパワーコンディショナなどへ接続されていないことを確認してから作業を行ってください。

※ RS-485 通信は極性（「+」、「-」）があります。極性を誤ると通信ができません。

Q CELLS パワコンのメーカーオプション併用の可否

ZERO の計測と併用できないメーカーオプションがありますのであらかじめご確認をお願いします。

パワコン型式	パワコンと ZERO を接続するための通信線	メーカーオプションと ZERO との併用可否と通信線	
		一括制御リモコン	送信ユニット (電力検出ユニット)
HQJP-M55-A1 HQJP-M55-A2 (屋外用集中型) HQJP-R55-A2 HQJP-R44-A2 (屋外用マルチストリング型)	[推奨ケーブル] KPEV-S 線 (シールド付) または FCPEV 線 Φ 0.9-1P (MODBUS 通信) => 2ページを参照	○可 [HQJP-RM-A1] [必須ケーブル] Q CELLS 専用オプションケーブル ・パワコン間ケーブル POKC □□ P ・リモコン - パワコン間ケーブル POKC □□ B (RS-485 通信) => 2～3ページを参照	×不可
HQJP-V55-A2 HQJP-V44-A2 (屋外用集中型)		×不可	×不可
HQJP-MA55-3 (屋外用集中型) HQJP-RA55-3 HQJP-RA44-3 (屋外用マルチストリング型)	[推奨ケーブル] パワコン - パワコン間 : FCPEV 線 Φ 0.9-2P パワコン - リモコン間 : FCPEV 線 Φ 0.9-2P パワコン - ZERO 間 : FCPEV 線 Φ 0.9-1P リモコン - ZERO 間 : FCPEV 線 Φ 0.9-1P 一括制御リモコンはパワコンと ZERO 間に接続 一括制御リモコン無し : => 4～5ページを参照 一括制御リモコン有り : => 4～6ページを参照	○可 [HQJP-RM-3]	×不可

本紙に記載の推奨ケーブルが機種ごとに異なっておりますが、線径やペア数をご確認の上、FCPEV 線や KPEV-S 線、CPEV 線相当品をご使用ください。

M55・Rxx・Vxx シリーズの接続例（ZERO とパワコンのみ）

- ・ MODBUS プロトコル通信の場合は、パワコン側の MODBUS 通信スイッチを ON にしてください。
 ※ パワコンに MODBUS 通信がない場合、この機能は使えません。

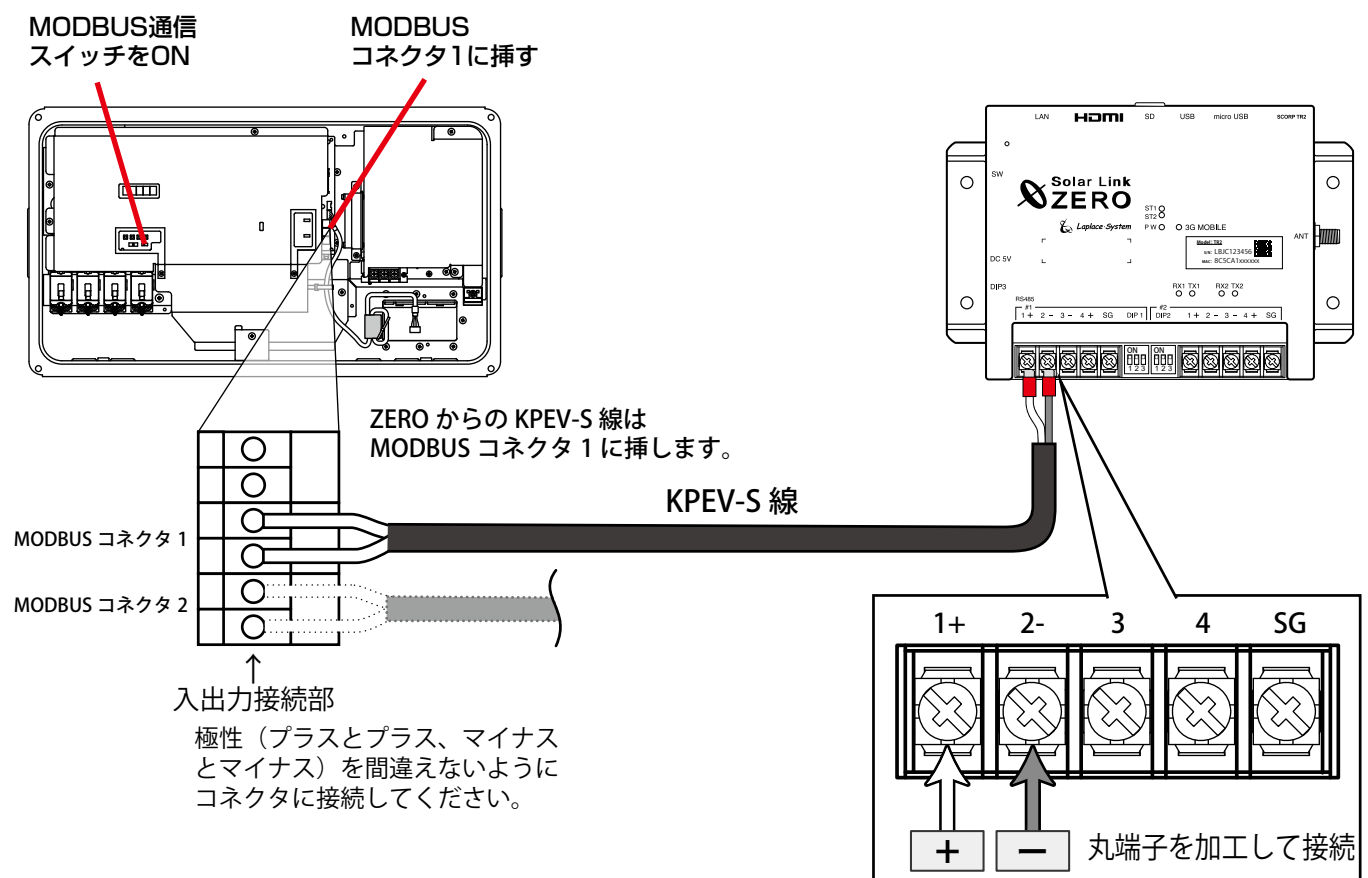
ケーブル加工と ZERO 側の対応について

手順 1

KPEV-S 線の ZERO に接続する側の先端に、メーカー指定の圧着工具を用い丸端子をカシメ加工します。

※ 推奨接続丸端子：(株)ニチフ端子工業製 TMEV1.25-3 相当品

なお、ケーブルは KPEV-S (ツイスト 2 ペアケーブル) を推奨しておりますが、
 パワーコンディショナの施工説明書記載の FCPEV ケーブル等でも問題はございません。



手順 2

KPEV-S 線を用いて、パワーコンディショナと ZERO の端子台を直接接続します。

- ・ MODBUS プロトコル通信の場合は、パワーコンディショナ側の MODBUS 通信スイッチを ON にしてください。
 ※ MODBUS 通信スイッチを変更する際には、開閉器を全て OFF にして、電源チェック LED の消灯を確認してから、通信線の接続と各設定スイッチを変更した後に、ON にしてください。
- ・ パワーコンディショナ側の ⊕ 端子と ⊖ 端子を、それぞれ ZERO の ⊕ 端子 ⊖ 端子に繋いでください。
 接続後の詳細な設定につきましては、パワーコンディショナに付属の施工説明書をご確認ください。
 ※ わたり配線は 400m 程度以内でお願いいたします。
 ※ ZERO 自体の施工はラプラス・システムの施工説明書 (L・eye 施工説明書) をご覧ください。

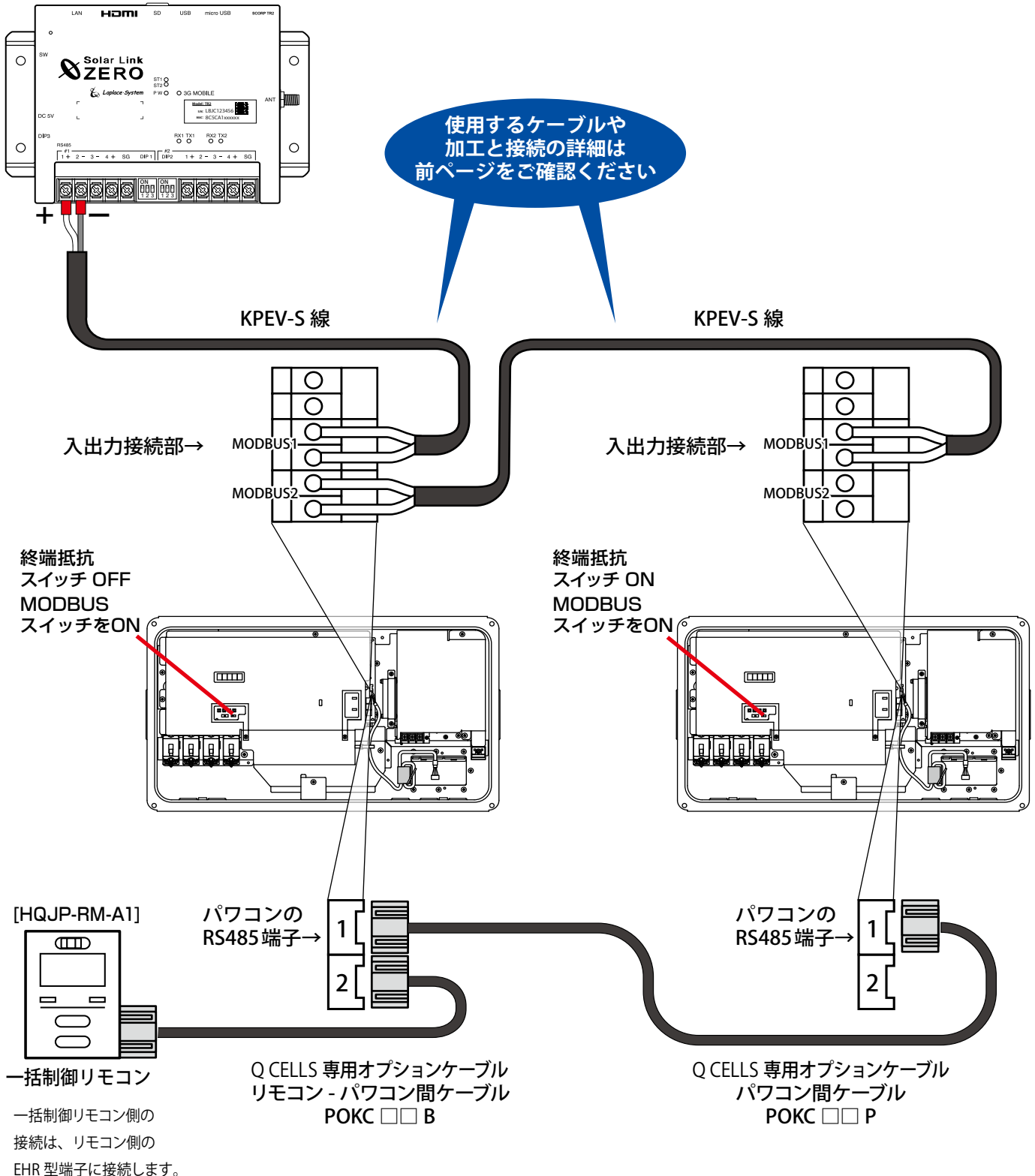
M55・Rxx シリーズの接続例（一括制御リモコン [HQJP-RM-A1] と併用）

HQJP-V55-A2 / HQJP-V44-A2 では、下記の ZERO と一括制御リモコンの同時接続はできません。

事前にご用意いただくもの

リモコン - パワコン間ケーブル、パワコン間ケーブル、KPEV-S 線、丸形端子

接続イメージ



HQJP-RAxx-3 / MA55-3 と ZERO の接続について

通信と信号線について

パワーコンディショナと計測端末 ZERO は RS-485 通信を行います。

パワーコンディショナの通信端子の通信側の+（プラス）と-（マイナス）と、ZERO の端子台を FCPEV 線Φ 0.9-1P（現地調達）を使って接続します。

※ 通信端子の電源側は使用しません

パワーコンディショナ間の通信には FCPEV 線Φ 0.9-2P（現地調達）を使って渡り接続します。

※ 通信端子の通信と電源の 4 つの端子を接続します。

- パワーコンディショナ通信端子で渡り接続するときには、必ず同じ色の速結端子にケーブルを挿してください。
- 通信線はシースや絶縁体を挟まないよう、速結端子の奥まで挿してください。

【ご参照：パワーコンディショナ付属の施工説明書の 29 ～ 30 ページ「5-2. 各機器の接続と設定」】

終端抵抗の設定

ZERO の出荷時の終端抵抗スイッチは ON です。

パワーコンディショナを複数台接続する場合、ZERO と反対側の終端に接続するパワーコンディショナの終端抵抗スイッチのみ ON とし、その他のパワーコンディショナは OFF にしてください。

パワーコンディショナ 1 台接続の場合は、パワーコンディショナの終端抵抗スイッチは ON です。

【ご参照：パワーコンディショナ付属の施工説明書の 30 ページ】

整定値設定

一括制御リモコンを接続しない時の整定値設定の機器間通信選択は「othEr」を選択してください。

一括制御リモコンを接続する時の整定値設定の機器間通信選択は「rEM-A」を選択してください。

複数台のパワーコンディショナを接続する場合には、各パワーコンディショナの通信アドレスを設定する必要があります。

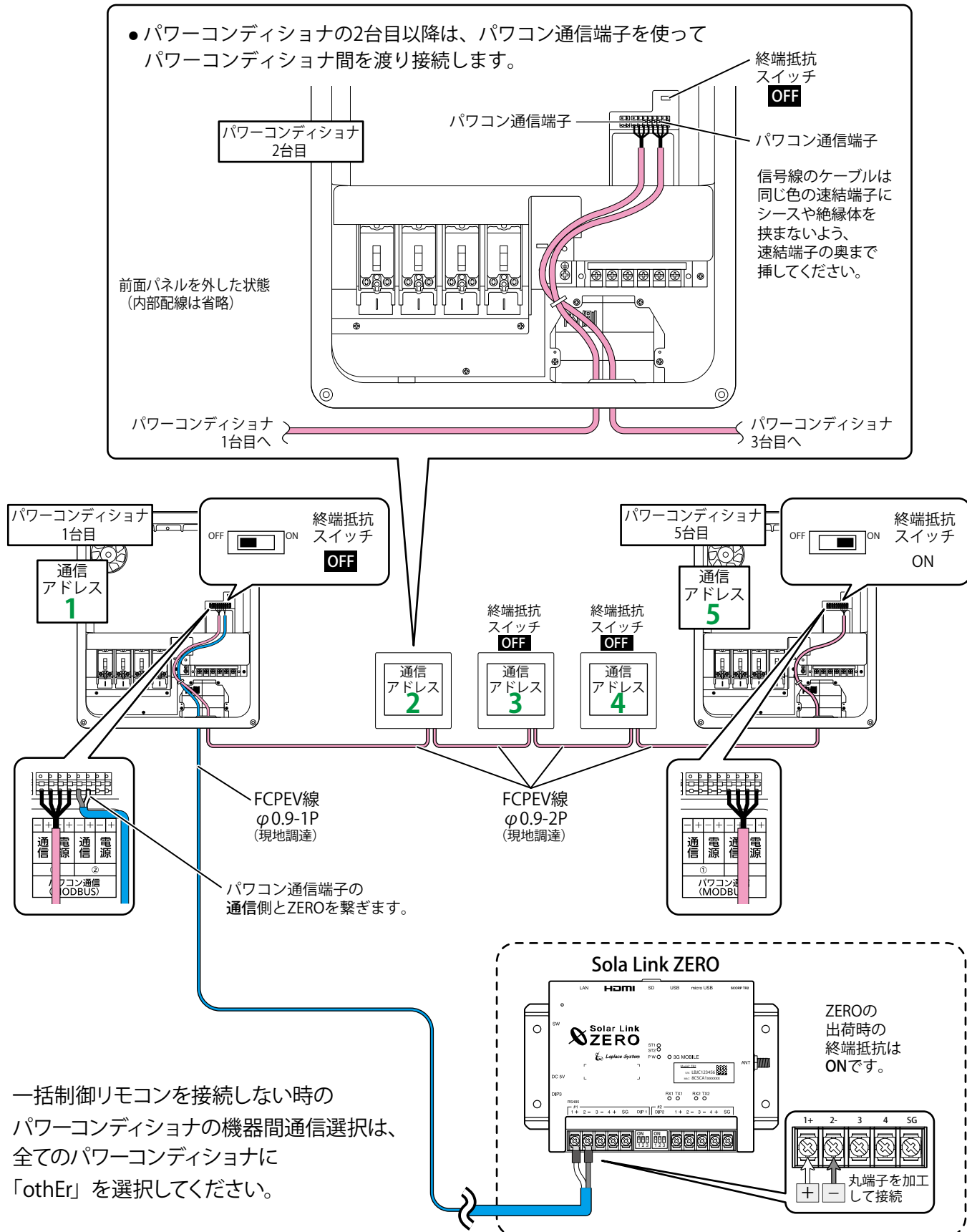
【ご参照：パワーコンディショナ付属の施工説明書の 38 ページ「機器間通信選択」】

上記の施工説明書ページ番号は、表紙左下に「BM164140142000」または「BM164140142001」と記載されている版を参照しております。

HQJP-RAxx-3 / MA55-3 と ZERO の接続例（一括制御リモコンなし）

接続例

下記は、パワーコンディショナ 5 台（一括制御リモコンなし）と ZERO の接続例です。

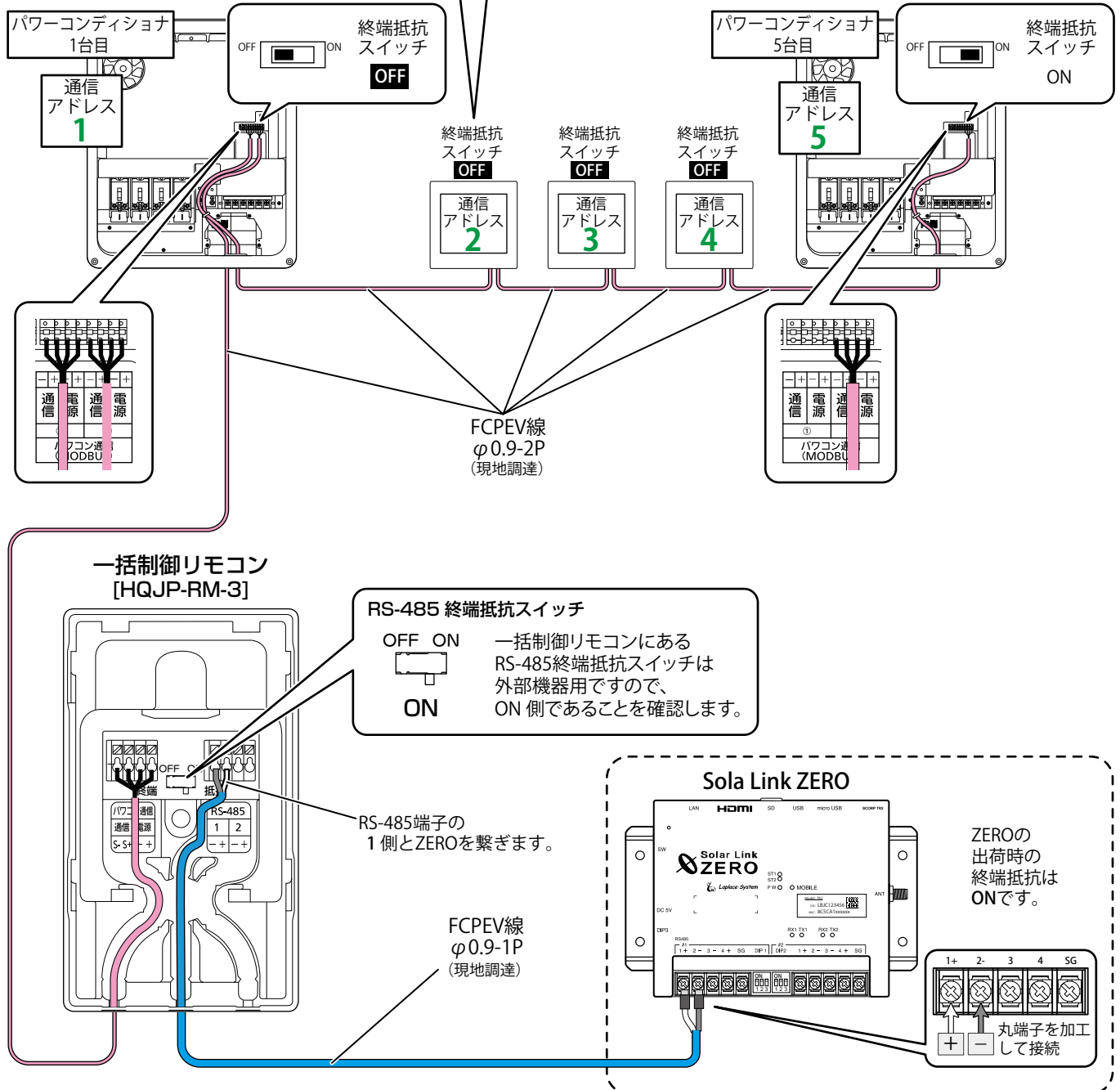


HQJP-RAxx-3/MA55-3とZEROの接続例（一括制御リモコン [HQJP-RM-3] と併用）

接続例

下記は、パワーコンディショナ 5 台と一括制御リモコン経由での ZERO との接続例です。

- パワーコンディショナの2台目以降は、パワコン通信端子を使ってパワーコンディショナ間を渡り接続します。
パワーコンディショナ2～4台目の通信線の施工ポイントは前ページと同じ。



一括制御リモコンを接続する時のパワーコンディショナの機器間通信選択は、全てのパワーコンディショナに「rEM-A」を選択してください。